

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和元年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
・生活支援体制整備協議体の開催（２回） 民生委員、老人クラブ、ボランティア団体等による情報共有、生活支援サービスの検討の実施 民生委員、町内店舗、ケアマネジャーなどへアンケート調査や聞き取り調査の実施 ・地域包括ケアシステム推進協議会の開催（１回） 医療機関、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所等による情報共有 電子@連絡帳の広域での利用、口腔観察シートの活用について検討。 ・多職種連携研修会（１回） 居宅介護支援事業所等による口腔観察シートの活用方法の情報共有
自己評価結果【○】
・生活支援体制整備協議体の開催（平成 30 年度）２回→（令和元年年 9 月末）２回※全 3 回予定 ・地域包括ケアシステム推進協議会の開催（平成 30 年度）２回→（令和元年 9 月末）１回※全 2 回予定 ・多職種連携研修会（平成 30 年度）１回→（令和元年 9 月末）１回
課題と対応策
協議体での話し合い、アンケート等より高齢者の見守り体制、地域で集える場が必要であると考えられる。地の既存の組織（自治会、老人会等）や店舗（喫茶店等）などと連携をおこない、早期に高齢者の状態変化を把握すること、介護予防などに関する情報発信を効果的におこなえるようにしていく。 被保険者の入退院状況を調査した結果、本町の医療圏域外での入院割合が高いため、圏域外医療機関とも入退院支援の連携をとることが必要である。今後、同医療圏の市町と共同で医療圏域外医療機関との入退院支援連携シートを作成していくことを検討している。

後期（実績評価）

実施内容
自己評価結果【○】
課題と対応策

--